



公益財団法人

日健栄協

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会

Japan Health and Nutrition Food Association

メールマガジン定期便 2024年6月 No.1

本日の内容 ～研修担当者様へもご回覧ください～

- 1 【お知らせ】「機能性表示食品を巡る検討会」報告書の公表について
- 2 【募集】PRISMA2020 特別勉強会（実務者編）2024年7月開催のご案内
- 3 【募集】2024年度健康食品業界 新人向けセミナー オンデマンド配信のご案内
- 4 【募集】「健康食品業界 新人向けセミナー深掘りコース/スクール形式」のご案内
- 5 【募集】2024年度 第1回 食品保健指導士養成講習会のご案内（オンデマンド配信）
- 6 【お知らせ】1 製造所を日健栄協 GMP 適合認定工場として認定
- 7 【お知らせ】特定保健用食品の許可について
- 8 【お知らせ】特別用途食品の許可について

◆◆◇◆矢島理事長からのメッセージ◆◇◆◆

1 【お知らせ】「機能性表示食品を巡る検討会」報告書の公表について

小林製薬の紅麹原料を含む機能性表示食品において健康被害が生じている事を踏まえ、消費者庁において開催されていた「機能性表示食品を巡る検討会」が終了し、報告書が公表されています。内容は以下からご確認ください。

[機能性表示食品を巡る検討会報告書 \[PDF:505KB\]](#)

■問合せ先 機能性食品部 kinousei@jhnfa.org

2 【募集】PRISMA2020 特別勉強会（実務者編）2024年7月開催のご案内

2023年度のガイドライン改正で、機能性表示食品の届出に用いる研究レビューについて、適切な研究レビューの作成に関する最新版の国際指針である PRISMA 声明（2020年版）への準拠が盛り込まれ、2025年4月以降の届出に用いる研究レビューは PRISMA2020 への準拠が必須となります。当協会ではこれまでに、「基礎編」と「実践編」の2回の特別勉強会を開催してきましたが、第3弾として少人数制（定員15名程度）によるウェブ講習と現地ワークショップを組み合わせた「実務者編」を、2023年12月より同じ内容で定期的で開催しています。現在、2024年7月開催回の参加を受け付けております。

■「実務者編」詳細・お申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0367.html>

7月開催回申込期限：2024年7月5日（金）

日程と内容は次のとおりです。

1. 事前のWeb講習（約1.5時間）：2024年7月10日（水）～ オンデマンド配信
2. 課題への取り組み：ワークショップまでに別紙様式 V-11,13,14,16 を作成
3. ワークショップ：2024年7月25日（木）10:00-17:00 当協会会議室にて

様式 V 関係の PRISMA2020 対応による具体的な記載方法や留意点についても、具体事例を用いて詳細にご説明します。SR を自ら作成される業務に就かれている方（文献検索、論文内容確認、個別論文評価、総体評価、SR 作成を実施されている方）を中心に、上記 1.～3.の全てにご対応いただける方のご参加を想定しています。

■ 問合せ先 機能性食品部 kinousei@jhnfa.org

3 【 募集 】2024 年度健康食品業界 新人向けセミナー オンデマンド配信のご案内

ご要望にお応えし配信期間が長くなりました

今年も業務を担当して日が浅い方や今年採用された方を対象に、健康食品業界の現状や法規制等について基礎からわかりやすく解説します。

■ 2024 年 6 月 24 日(月)～7 月 7 日(日)

「健康食品の全体をわかりやすく」/オンデマンド配信

- (1) 健康食品の現状と動向（60 分）
- (2) 健康食品に関わる法規制についてー表示・広告等ー（60 分）
- (3) 健康食品の安全性・有効性について（60 分）

参加費：会員 5,500 円 / 一般 11,000 円（税込）

■ 詳細・お申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0388.html>

■ 会員限定 企業パッケージ型はこちら <https://www.jhnfa.org/2023program.html>

- ・10 名以上のお申込みで参加費がお安くなります。
- ・配信日程を自由に設定いただけます。

昨年度受講された方の感想：

「健康食品の安全性・有効性については製品化を始める前段階にここまでの下調べを行ってから取り掛かることを知らなかったので、大変参考になりました」

「表示、広告につきましては無知でしたので有益な情報を取得でき、今後活用できそうです」

「科学的な根拠にて健康食品の信頼を獲得し、業界全体の健全な発展に貢献するのが我々の責任と使命であり、有効性と安全性を持って、開発と企画を挑むべきと改めて考えさせました」など。

■ 問合せ先 研修企画部 kensyu@jhnfa.org

4 【 募集 】「健康食品業界 新人向けセミナー深掘りコース/スクール形式」のご案内

会場開催「新人向けセミナー 深掘りコース」開催のご案内です。

記事 3 の新人向けセミナー(6/24～7/7 オンデマンド)配信後、開発部門・製造部門に特化して、いわゆる健康食品の安全性の確保や GMP などの知識をより深めたい方向けにわかりやすく説明します。研修の一環として、ぜひご活用ください。

■「健康食品業界 新人向けセミナー 深掘りコース」/スクール形式（当協会会議室）

- ・7 月 19 日(金)10:00～「安全性・有効性について」定員 20 名
- ・7 月 19 日(金)13:30～「製造・品質管理の詳細」定員 20 名
- * お申込みは別々になります
- * 参加費：各回 会員 5,500 円 / 一般 11,000 円（税込）

* 定員になり次第締め切りとなります

■ 詳細・お申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0391.html>

■ 問合せ先 研修企画部 kensyu@jhnfa.org

5 【募集】2024年度第1回 食品保健指導士養成講習会のご案内（オンデマンド配信）

「食品保健指導士」とは、当協会が認定する「アドバイザースタッフ」のことで、保健機能食品をはじめとする健康食品等について、正確な情報を消費者に提供できるスペシャリストです。

- オンデマンド配信により期間中いつでもご覧いただけます
- 医薬品との相違や、衛生管理、有用性・安全性を考慮した適正な使用方法や摂取方法等、厚生労働省のガイドラインに沿ったプログラム構成となっています
- 著名な講師により総合的な知識を得ることができます
- 修了評価認定試験に合格することにより資格取得となります
- 資格の取得によるスキルアップにも役立ちます

【2024年度「第1回 食品保健指導士養成講習会」オンデマンド配信】

講習期間：2024年7月19日（金）～8月19日（月）

期間中繰り返しご覧いただけます

受講料：会員 79,530円/一般 96,360円（税込）

会員限定：企業単位で10名以上お申込みの場合、1名あたりの受講料がお安くなります

■ プログラムや詳細はこちらから <https://www.jhnfa.org/hoken-01.html>

■ 問合せ先 研修企画部 kensyu@jhnfa.org

6 【お知らせ】1 製造所を日健栄協 GMP 適合認定工場として認定

2024年5月29日付けで1社1製造所を日健栄協 GMP 適合認定工場として認定しました。
これにより、日健栄協 GMP 適合認定工場は合計 176 となりました。

■ 製造所名

・株式会社湧玉製薬（静岡県富士宮市）

【認定の範囲】製品 GMP

■ 問合せ先 健康食品部 kenshoku@jhnfa.org

7 【お知らせ】特定保健用食品の許可について

令和6年5月29日付けで4品目が許可されましたので、お知らせします。
今回許可になった製品は以下のとおりです。

商品名／申請者／許可区分（許可番号）

特茶 a TOKUCHA／サントリー食品インターナショナル株式会社／特保（第1858号）

豆乳の力 プレーン／株式会社ヤクルト本社／再許可特保（第1859号）

豆乳のカ ブルーベリー／株式会社ヤクルト本社／再許可特保（第 1860 号）

カップオリゴ／日新製糖株式会社／再許可特保（第 1861 号）

今回の許可により、特定保健用食品は、1057 品目（許可 1056 品目／承認 1 品目）となりました。

詳細は、消費者庁ホームページにてご確認ください。

消費者庁ホームページ

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_for_specified_health_uses/

■ 問合せ先 特定保健用食品部 tokuho@jhnfa.org

8 【お知らせ】特別用途食品の許可等について

令和 6 年 5 月 27 日付けで 1 製品、6 月 6 日付けで 2 製品、計 3 製品の新規許可が公表されました。このことにより許可件数（商品数）は 100 件（125 製品）となりました。詳細は下記をご覧ください。

■ 3 製品 新規許可（許可区分／商品名／申請者）

- ・個別評価型病者用食品／アクエリアス経口補水液 ORS（オーアールエス）／日本コカ・コーラ株式会社
- ・個別評価型病者用食品／経口補水液 ジーオーエス（G-OS）／五洲薬品株式会社
- ・えん下困難者用食品／アイソカル ゼリー もっとハイカロリー（許可基準 2・4 製品）／ネスレ日本株式会社

■ 詳細は消費者庁ホームページにてご確認ください。

- ・食品群別許可件数：[特別用途食品表示許可件数内訳（令和 6 年 6 月 6 日）](#)
- ・商品名や申請者等の情報：[特別用途食品許可品目一覧（令和 6 年 6 月 6 日）](#)

■ 問合せ先 栄養食品部 eishoku@jhnfa.org

◆◆◇◆矢島理事長からのメッセージ◆◇◆◆

最近の主な取組をご紹介します。

5 月 20 日（月）、厚生労働省老健局の間 隆一郎 局長と面会をする機会があり、医療経済研究・社会保険福祉協会の辻 理事長と一緒に、「フレイル予防のポピュレーションアプローチ」についての進捗状況をご報告することができました。今年度は、いよいよ「フレイル予防推進会議」を立ち上げることになるので、介護予防に向けた具体的な方策について、有意義な意見交換ができました。

5 月 21 日（火）、厚生労働省医政局 歯科保健課の小椋 正之 課長を訪問し、現在、トクホ技術部会で作成している特定保健用食品（歯の用途）に関する教材（指導者用・対象者用）について、福山 勝実 理事（特定保健用食品技術部会トクホの活用促進と普及ワーキングリーダー）とワーキングメンバーと一緒に伺い、概要説明いたしました。本教材については、既に日本歯科医師会にも説明をして了解をいただいていること、9 月に大阪で開催される第 71 回日本栄養改善学会学術総会で発

表すること、消費者庁の消費者教育ポータルサイトに掲載予定であることを報告し、意見交換を行いました。

5月29日（水）、広島県国民健康保険団体連合会が事務局をしている広島県保険者協議会において、「第4期特定健診・特定保健指導の概要」についてWeb研修会の講師を引き受けました。国の動向として、なぜ特定健康診査・特定保健指導の制度が始まったのか、なぜ首相官邸が人生100年時代、健康寿命の延伸、生涯現役と言うのか、健康日本21（第三次）の意義について、お話をさせていただきました。

6月2日（日）、食品保健指導士会の総会が日健栄協において対面とWebオンラインのハイブリッドで行われ、記念講話として「フレイル予防のポピュレーションアプローチ」について説明いたしました。意見交換会では、食品保健指導士の方から、今後の活動でフレイル予防の重要性についても説明していきたいとの反応をいただき、大変心強く感じました。

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 理事長 矢島 鉄也



* 配信停止・配信先の変更などは総務部 kaiin@jhnfa.org までご連絡ください。

配信元 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 <https://www.jhnfa.org>

東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7番地27